

五硫化アンチモン AS-S1

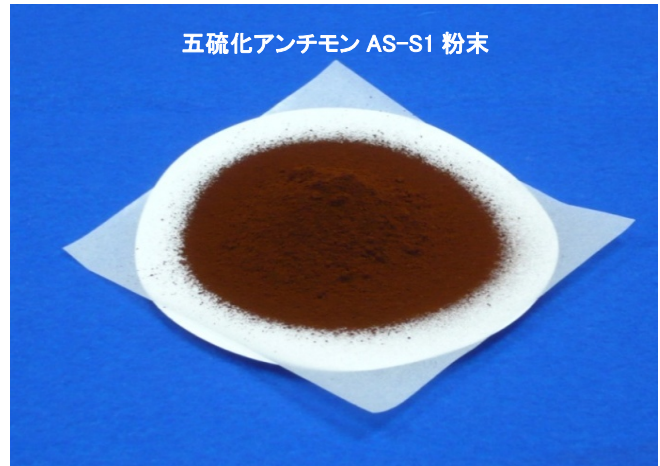
当社の**五硫化アンチモン AS-S1**は、褐色を呈する粉末で、主に「硫化いぶし」と呼ばれる銅合金（真鍮、ブロンズ）建材の表面仕上げに使用する着色剤に用いられます。AS-S1の粉末を難溶性の水やアルコールでスラリー状にして銅合金の表面に塗布した後、乾燥・除去することで銅合金の表面に褐色の被膜を作り、アンティークな風合いの着色効果を現します。

また、この被膜は、数年の経時変化により、徐々に黒褐色に変化するもので、神社、仏閣、洋館、公共施設の建物、大型商業施設の玄関口やエレベーター扉などに使われている銅合金建材に重厚感と耐久性を持たせる高級表面仕上げに広く用いられています。

また、銅合金部材を処理液に漬けるような湿式処理と異なり、処理液槽を必要としない乾式処理なので、槽に入らないような大型建材、異形建材などの表面処理にも用いられています。

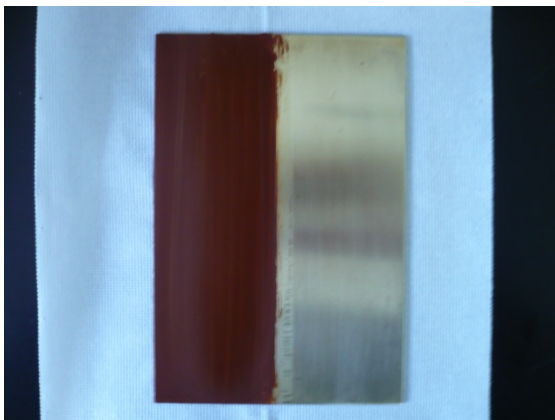
AS-S1は、アンチモンと硫黄を主成分としており、主に五硫化アンチモン(Sb_2S_5)に若干の三硫化アンチモン(Sb_2S_3)、遊離硫黄を含有します。また、組成比はアンチモン(Sb)約70%、硫黄(S)約30%に水分約1%を含みます。

五硫化アンチモンは比較的不安定な物質で、温度や経時により、徐々に三硫化アンチモンと硫黄に分解しますので、長期保管を避け、冷暗所に保管ください。



用途代表例：真鍮の表面着色処理（硫化いぶし処理）

①銅合金板の左側に水で溶いたスラリー状五硫化アンチモンを塗布した状態。（中央をテープでマスキング）



②塗布した五硫化アンチモンを乾燥させて除去すると硫化いぶしされた表面が現れる。



※記載データは弊社試験方法による実測値の一例であり規格値あるいは効果の保証値ではありません。

<http://www.nihonseiko.co.jp>



本社
 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2
 TEL 03-3235-0021(代表) 03-3235-0031(営業)
 FAX 03-3235-0034

大阪営業所
 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-11
 大同生命南館
 TEL 06-7711-0120 FAX 06-7711-0121

中瀬製錬所
 〒667-1111 兵庫県養父市吉井1198
 TEL 079-667-2121
 FAX 079-663-5000